

## 第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	アスク上大岡保育園
経営主体(法人等)	株式会社 日本保育サービス
対象サービス	児童分野 保育所
事業所住所等	〒233-0002 神奈川県横浜市港南区上大岡西3-3-1
設立年月日	平成18年4月1日
評価実施期間	平成30年8月 ～ 31年1月
公表年月	平成31年3月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
<b>総合評価（事業所の特色や努力、工夫していること、事業者が課題と考えていること等）</b>	
<p><b>【施設の特色】</b></p> <p>・ <b>立地および施設の概要</b> アスク上大岡保育園は横浜市営地下鉄ブルーライン、京浜急行の上大岡駅から徒歩8分の閑静な住宅街にあり、4階建てマンションの1階を園舎とし、約80平方メートルの園庭があります。平成18年4月に、株式会社日本保育サービス系列の神奈川県内における第1号保育所として開設された12年目の保育園です。0～5歳児が現在56名在籍しています。周辺には公園や広場が多くあり、散歩や自然に関わって遊べる場所があり、子どもたちはよく園外にでかけています。</p> <p>・ <b>園の特徴</b> 園目標を「生きる力のある子ども、元気な子・考える子・優しい子」とし、設置法人グループから派遣される専門講師によるリトミック、体操教室、英語教室のほか、園職員によるクッキング保育を行っています。</p> <p><b>【特に優れていると思われる点】</b></p> <p><b>1. 個別に配慮した子どもへの取り組み</b> 「クラスの様子」として子ども一人一人についてレポートを作成し、毎月の職員会議で報告し、話し合っており、その子に応じた対応を行っています。アレルギー児の除去食は全職員で食材のチェックを行い、偏食の子どもに対しては調理員と相談して対応しています。配慮を必要とする子どもの保護者とは「個人ノート」で日々の様子、情報を交換し、子どものペースを尊重した対応を行っています。設置法人が企画している内部研修のテーマとなっている発達支援、障がいについて職員が受講し、園内に報告し職員の知識を高めています。また、よこはま港南地域療育センターの職員や設置法人の発達支援チームによる巡回指導結果を全職員で共有して保育に生かしています。</p> <p><b>2. 職員の連携による円滑な保育活動</b> 0、1歳児室、2～5歳児室のそれぞれはワンフロアで、背の低い戸棚で仕切り、常にお互いの存在を意識して過ごす環境にあります。クラスごとの活動では、職員間で、その日の予定を確認し合い、連携・協力して保育にあたっています。散歩や活動の時間を調整し合い、集中して行う活動や大きな音を出す活動は、ほかのクラスが散歩に行っている間にするなど落ち着いて取り組めるよう工夫しています。日常保育の中で、職員は、常にほかのクラスの子どものにも声かけしたり、トイレ、食事、活動の切れ目の時間帯などの手助けも行ったりしています。</p>	

### 3. 地域交流で子どもの生活が充実

夏祭りや運動会、誕生会に地域の方を招待し、地域の未就園児に対して「保育園体験会」を開いています。地域の近隣保育園と一緒に秋祭りや学校探検、小学1、2年生との交流会を持ち、「一緒に遊ぼう会」やミニ運動会、ドッジボールを行っています。地域との交流を通して子どもの生活の充実、地域の理解を深めています。

#### 【特に改善や工夫などを期待したい点】

##### 1. 遊びの場の環境構成の工夫

保育室はスペースの関係で子どもがおもちゃを自由に取り出せない環境になっていたり、遊びに応じたコーナーなどがなかったりしています。ぬいぐるみやままごと道具、年齢に応じたおもちゃなどは用意してありますが、職員が子どもの様子や子どもの要求でおもちゃを出しています。発達の過程に応じたおもちゃを子どもが思いのまま選べたり、また、子どもの興味や関心に基づいた遊びのコーナーを設置するなど遊びの場の環境構成の工夫が望まれます。

#### 評価領域ごとの特記事項

##### 1. 人権の尊重

- ・運営理念は「安全・安心を第一に、いつまでも思い出に残る保育、利用者のニーズに合った保育サービスを提供する」であり、保育方針は「子どもの自ら伸びようとする力、後伸びする力、五感を感じる保育の充実を目指す」を掲げ、保育目標には「生きる力のある子ども、命を大切にし、頭と体を使い、自らやろうとする元気な子、大人の指示に頼らず、自分で判断し、思ったことを表現する考える子、大人から愛されている自信を持ち、人とかかわりがわかり、他人への思いやりを持つ優しい子」とし、日々の保育にあたっては、子どもを尊重したものとなっています。
- ・散歩の行先や活動内容については、子どもの意見を聞き、子どもをよく観察し、子どもの主体性・自主性を発揮できるようにしています。また、子どもの成長する姿を考え、子どもの気持ちに寄り添い、子どもの意見を尊重して活動内容を柔軟に変更し、自尊心を傷つけない言葉かけにも心がけています。
- ・子どもへの言葉遣いや対応については、日々の保育の中で職員相互に配慮し、職員会議で話し合い、振り返るようにしています。叱るときも、子どもの気持ちに配慮し、せかしたりせず分かりやすく説明し、「した方がよいでしょう」などと、子どもへの声かけを、各年齢に応じた口調で丁寧に話すように心がけています。
- ・プライバシーを守れる場所として事務室や玄関で、威圧感を与えず一対一でゆっくりと話し合い、ほかの子ども目に止まらないように配慮しています。保育室のロッカーの位置を変えたり、パーテーションを利用して、ほかの子どもから離れて話をすることもあります。
- ・個人情報取り扱いガイドラインがあり、守秘義務や個人情報を含む書類の取り扱い方法などについて職員には周知徹底を図っています。入社時に研修を受講し守秘義務に関する誓約書を提出しています。また、保護者には、「入園のご案内」に個人情報の取り扱いについて記載し、入園説明会にて説明しています。
- ・名簿は五十音順で、集まった順で整列し、食事の席はクラス担任が子どもと話し合いで決め、グループ分け、整列を男女別に分けたりはしていません。

##### 2. 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提

- ・保育理念、基本方針に基づいた保育を実践するために、全体的な計画に基づき、子どもの発達や状況に応じて、また保護者の意向も反映して年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています。

供

- 0歳児保育では、子どもが十分に体を動かせるように棚や机を配置し、這ったり、つかまり立ちができるようにし、職員も一緒に遊ぶことで、玩具への興味や好奇心が育つようにしています。
- 1歳以上3歳未満児の保育では、靴下や帽子入れ、靴箱に子どもの個々のマークをつけ、字が読めなくても自分でやろうという気持ちを育めるようにしています。ぬいぐるみやままごと道具、年齢に応じた玩具は用意し、職員が子どもの様子や子どもの要求で玩具を出しています
- 3歳児の保育では子どもに体操教室やゲームをする中でルールを守ることを経験し、自分の思いを伝えたり、相手の気持ちに気付いたりできるようにしています。戸外活動で自然に興味をもたせたり、遊びの中に自然の素材を取り入れたりできるような環境を整えています。
- 4歳児保育ではじゃんけんや勝ち負けのあるゲームを取り入れ、友だちとのやり取りの中で相手の気持ちや喜び悲しみに気づくようにし、絵本やごっこ遊びでイメージを広げるようにしています。
- 5歳児の保育では子どもが音楽や製作活動を通して自分のイメージを広げ、友だちと一緒に表現することで楽しさを感じ、成し遂げた喜びを感じられるようにしています。
- 職員は子ども一人一人の食べる量を調節し、無理強いせず完食できる喜びを感じられるように調節しています。排泄に関しては、排泄状況を子どもの姿から把握して、個人差を尊重し、排泄リズムに合わせて声かけし、子どもの発達に合わせて無理をしないように行っています。
- 保育時間の長い保育の子どもには、その日の様子や活動によって、机上遊びやマットを敷いて、ブロック組み立てやぬいぐるみで遊ぶコーナーを分けて、落ち着いて遊べるように配慮しています。保護者の希望により、夕食を提供し、寂しさを感じないように会話を大切にしています。

### 3. サービスマネジメントシステムの確立

- 入園説明会時には、子どもと一緒に来てもらい、面談をして、子どもの様子、親子のやり取りを観察し、「入園時面談シート」に記入しています。保護者から子どもの生育歴、健康状態や家庭状況を「入園児家庭調査票」や「健康調査票」「お子さまの状況について」「入園時家庭調査票」を提出してもらい、個別ファイルしています。
- ならし保育については園見学会時や入園説明会で話し、子どもの様子から1週間から1か月程度を勧め、保護者の就労状況にも配慮し、保護者と相談しながら無理のない範囲で進めています。
- 入園後の成長記録は、0～2歳児は児童票に毎月記録し、3歳以上は3か月ごとに記録しています。
- 障がい児保育を行っており、障がい児の個別月間指導計画には、活動内容に対しての目標や具体的な対応方針を立てて、保護者とは「個人ノート」を作り、日々の様子、情報を交換し、子どものペースを尊重して作成しています。毎月職員会議で話し合い、情報を共有しています。設置法人や港南区主催の障がい児保育の

様々なケースに応じた研修に参加し、また、設置法人の発達支援チームの巡回やよこはま港南地域療育センターの巡回相談時のアドバイスを職員会議で共有して保育に生かしています。

- 虐待対応マニュアルがあり、職員は虐待の定義や対応について入社時研修や職員会議で学び、虐待が疑わしい場合は、担任から園長に、設置法人の支援課担当者や港南区こども家庭支援課、横浜市南部児童相談所に連絡をしています。
- 食物アレルギーのある子どもは、入園時、保護者から医師の発行する「保育園におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を提出してもらい、それに従って除去食を提供しています。アレルギー児情報は調理室、事務室に掲示して、全職員が確認できるようにしています。食物アレルギーのある子どもに食事を提供する際は、色の違う専用トレイを使用し、除去食を書いたラップで覆い、名前を書いて、誤食がないように提供しています。
- 保育園業務マニュアルには、健康管理に関する取り組みを明記し、入園時に保護者に「児童健康調査票」に記入してもらい、既往症について職員は把握しています。健康診断と歯科健診は年2回行い、子ども一人一人の結果は「個人健康記録票」に記録し、健診結果は当日、書面の配付と口頭で保護者へ伝えていきます。
- 感染症については、入園時に「入園のしおり」にて説明し、登園停止基準や保育中に感染の疑いが生じた場合の対応が明記されています。保育中に発症した場合はすみやかに保護者に連絡し、迎えを依頼し、他の子どもに感染しないように、事務室の一角に隔離し安静を保つようにしています。

#### 4.地域との交流・連携

- 地域の子育てニーズについて、職員会議で話し合い、地域の子育て家庭を季節の集会や誕生会、園庭開放に誘い、地域の未就園児の家庭に保育園体験会を開催しています。
- 年4、5回港南区保育所園長会に参加し、その中で地域のニーズに対応すべく各園から意見を出し合い、検討会・研究会を行っています。港南区福祉保健センター・こども家庭支援課、医療機関、よこはま港南地域療育センター、近隣の保育園、小学校などの連絡先を事務室に掲示し、日常的に連絡を取っています。
- 夏祭りや運動会などの園の行事、誕生会に地域の方を招待し、港南区主催の「こどもフェスティバル春」に毎年参加し、京急百貨店の保育園幼稚園の紹介イベントに園のポスターを掲示しています。
- 地域の小学校と連携し、近隣の保育園と一緒に秋祭りや学校探検、小学校1、2年生との交流会に参加する機会を持ち、地域の方向けに園庭開放を行い、「こどもフェスティバル春」ではパラバルーンなどを貸し出しています。
- 散歩には、上大岡公園、港南ふれあい公園、笹野橋公園のほか、幼児クラスでは久良木公園に行き、0～2歳児クラスは地域ケアプラザのおもちゃ文庫を利用しています。
- 地域の上大岡小学校の体育館を借りて運動会を行い、地域の保育園、京急キッズランド保育園、上大岡保育園、上大岡東保育園、小学館アカデミー保育園などと「一緒にあそぼう会」に参加し、また港南区の「こどもフェスティバル春」にも参加して交流しています。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上大岡公園で近隣の保育園、クオリス保育園、京急キッズ保育園と合同避難訓練を行い、また上大岡周辺の「京急キッズ、つばさ、ゆう、つくしんぼ等」保育園で行う合同ミニ運動会やドッジボール大会にも参加し交流しています。</li> </ul>
<p><b>5.運営上の透明性の確保と継続性</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織や職員が守るべき法、規範、倫理などについては保育園業務マニュアルや就業規則に明文化されており、職員には入社時研修で周知しています。また、設置法人にはコンプライアンス委員会があり、不正があった場合には直接通報できる仕組みを職員に周知しています。</li> <li>・運営理念と保育方針、園目標を玄関に掲示しています。職員には入社時研修や年度初めの職員会議で周知し、指導計画を立案する際も園目標に沿っているかを園長は確認しています。また、園の重要な意思決定をする場合や変更する場合は、職員会議で説明し、保護者には保護者懇談会で知らせています。</li> <li>・設置法人から保育園運営にかかわる業界の不正、不適切事例の記事や情報が、アクシデント情報として一日2回送信され、必要があれば職員会議で検討し、自園で発生した場合の対処法や未然防止策を設置法人に提出しています。</li> <li>・平成30年度計画として「①様々な経験や対人関係の広がりを通じて自立心を高める ②地域の方と共同でイベントを開催 ③多様な経験を積み重ねることで豊かな感情・好奇心・探究心・思考力を養う」を挙げた保育を実践しています。また、長期目標として「①生きる力を育てる保育をする ②地域に開かれた保育園に ③豊かな人間性を持った子供を育成する」を掲げています。</li> </ul>
<p><b>6.職員の資質向上の促進</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人作成の「保育士人材育成ビジョン」に基づき、経験、能力や習熟度に応じた役割を期待水準として明文化しています。職員は年度初めに個人目標を立て、園長に提出し、年2回の自己査定を行い、園長やマネージャーと面談し、振り返りをして、達成度を確認し、次年度計画につなげています。</li> <li>・設置法人が研修ニーズを考慮しながら、経験年数別の階層別研修と自由選択研修の計画を作成し研修を企画実施しています。常勤・非常勤とも職員が希望すれば、受講することができます。</li> <li>・園長は園全体のバランスを考慮し、園の理念・方針を踏まえた保育をするための人材育成を図り、職能や経験年数に応じた人員配置を行い、欠員が生じた場合は設置法人に人材の補充を依頼しています。</li> <li>・園長は、常勤・非常勤職員から事前に希望を取ってシフトを作成し、職員の精神面、肉体的にも配慮しています。永年勤続10年の表彰を授与される制度や良い企画を提案した場合社長賞を授与される制度があります。</li> <li>・園長は可能な限り現場の職員に権限委譲し、クラス担任を中心に現場で判断し、主任・園長に報告をすることで、最終的な責任を園長がとる体制となっています。また、園長は現状の問題や意見・提案を個人面談や日々の会話の中で把握し、業務改善につなげ、いつでも職員と個別に話ができる環境を整えています。</li> </ul>



## 評価機関による評価


平成 31 年 1 月 15 日



### 事業所名 アスク上大岡保育園

 3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある


#### 評価領域 I 子ども本人の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>I - 1</b> 保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営理念は「安全・安心を第一に、いつまでも思い出に残る保育、利用者のニーズに合った保育サービスを提供する」であり、基本方針は「子どもの自ら伸びようとする力・後伸びする力、五感を感じる保育の充実を目指す」として子どもを尊重したものとなっています。</li> <li>保育目標「生きる力のある子ども・元気な子」、「命を大切にし、頭と体を使い、自らやろうとする・考える子」、「大人の指示に頼らず、自分で判断し、思ったことを表現する・優しい子」、「大人から愛されている自信を持ち、人とのかかわりがわかり、他人への思いやりを持つ」を事務室に掲示し、職員は基本方針について入社時研修や職員会議で説明を受け、理解しています。</li> <li>全体的な計画は保育理念、保育方針、園目標、年齢ごとの目標に沿って、保護者の就労状況や子どもの発達や成長に合わせて作成しています。</li> <li>年齢ごとに全体的な計画に基づき年間指導計画・月案・週案を作成しています。散歩の行先や活動内容について、子どもの意見を聞き、子どもをよく観察し、子どもが主体性・自主性を発揮できるようにしています。子どもの成長する姿を考えて指導計画を立てています。子どもの意見を尊重して活動内容を柔軟に変更しています。</li> </ul>
<b>I - 2</b> 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月に入園説明会を実施し、子どもも一緒に来てもらい、園長、主任、保育士が提出書類をもとに面談して、子どもの様子、親子のやり取りを観察して、「入園時面談シート」を作成しています。保護者から子どもの成育歴、健康状態や家庭状況を記載した「入園児家庭調査票」や「健康調査票」「お子様の状況について」を提出してもらい、個別のファイルに綴り、必要ときはいつでも職員は見られるようになっていきます。職員会議で全ての子どもの情報を周知し、日々の保育に生かしています。</li> <li>ならし保育の必要性について園見学会時や入園説明会で話しています。ならし保育は子どもの様子から1週間から1か月程度を勧め、保護者の就労状況にも配慮し、保護者と相談しながら無理のない範囲で進めています。</li> <li>進級にあたり、なるべく担任の一人は持ちあがりにするなど、できる限り配慮し、十分なスキンシップや声掛けを行い安心して過ごせるようにしています。</li> <li>全体の計画に基づいて、子どもの発達や状況に応じて、また保護者の意向も反映して年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています。複数担任のクラスでは担任間で、一人担任は園長、主任と子どもの発達について話し合い、評価・反省・見直しを行い次期の計画に反映しています。</li> <li>0～2歳児は個別の連絡ノートにその日の子どもの様子をわかりやすく記載し、またお迎え時にも口頭で園での様子を丁寧に伝え、保護者との信頼関係を築けるようにしています。</li> <li>保護者の意向は毎日の送迎時や連絡ノートで把握して、個々の発達状況に合わせてトイレトレーニングや箸へ移行などを進めています。</li> <li>0歳児の保育では、職員は子どもの表情や喃語に丁寧に答えるように心がけ、表情やしぐさから気持ちを汲み取り、簡単な言葉にして伝えることで、言葉を増やしていきけるようにしています。</li> </ul>


	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳児の保育では、職員が毎日おもちゃを消毒、保育室を清掃し、子どもが十分に体を動かせるように棚や机を配置し、這ったり、つかまり立ちができるようにしています。職員がままごと道具やバック、紙袋や指先を使う布の絵本などをその都度、提供して、職員も一緒に遊ぶことで、玩具への興味や好奇心が育つようにしています。</li> <li>・1歳以上3歳未満児の保育では、靴下や帽子入れ、靴箱に子どもの個々のマークをつけ、字が読めなくても自分でやろうという気持ちを育めるようにしています。職員は自分でやりたいと思う気持ちを受け止め、怪我のないように見守り、一人一人の発達に応じた活動を支援しています。</li> <li>・おもちゃは子どもがスペースの関係で自由に取り出せるようになっていません。ぬいぐるみやままごと道具、年齢に応じた玩具は用意してありますが、職員が子どもの様子や子どもの要求で玩具を出しています。</li> <li>・戸外活動で走ったり、登ったりと思う存分体を動かして遊べるように公園を選んでいきます。室内でも部屋のレイアウトを替え、走る、跳ぶなど全身を使った活動ができるようにしています。</li> <li>・3歳児の保育では子どもに体操教室やゲームをする中でルールを守ることを経験し、自分の思いを伝えたり、相手の気持ちに気付いたりできるように、職員が代弁して個々の思いを受け止めながら関わっています。自分たちの生活にとって、必要な行動やきまりがあることに気付かせています。戸外活動で自然に興味をもたせたり、遊びの中に自然の素材を取り入れたりできるような環境を整えています。</li> <li>・4歳児の保育ではじゃんけんや勝ち負けのあるゲームを取り入れ、友だちとのやり取りの中で相手の気持ちや喜び悲しみに気づくようにし、絵本やごっこ遊びでイメージを広げるようにしています。</li> <li>・5歳児の保育では子どもが音楽や製作活動を通して自分のイメージを広げ、友だちと一緒に表現することで楽しさを感じ、成し遂げた喜びを感じられるようにしています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;      保育室のスペースの関係で子どもがおもちゃを自由に自分の手で取れるようになっていません。発達段階に応じた玩具を子どもが自分で自由に取り出せるような環境設定が望まれます。</p>
<p><b>I-3</b>  <b>快適な施設環境の確保</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生マニュアルに基づいて、保育室、玄関、トイレなど毎日清掃を行い、終了後は清掃チェック表に記録し、清掃漏れがないようにしています。</li> <li>・園内は24時間換気し、日中もこまめに窓を開け換気しています。保育室の壁には、においを防ぐ素材を使用しています。室内には温湿度計を設置し、また職員の体感温度でこまめに管理しています。</li> <li>・ワンフロアのため、活動内容についてほかのクラスと話し合い、部屋を変えるなどして、音楽や職員の声が騒音にならないように、子どもの集中力を遮らない配慮をしています。</li> <li>・トイレに沐浴設備、温水シャワーを完備しています。0、1歳児は6月になると保護者にハグノートを利用して子どもの様子を入力してもらい、職員は子どもの体調に合わせた沐浴をほぼ毎日行っています。2歳児クラスも汗をたくさんかいた日にはシャワー浴をしています。</li> <li>・0、1歳児は部屋の配置を変えて、活動に応じてクラスごとに過ごす時間と合同保育を取り入れています。食事と寝る空間についても機能別に分けています</li> <li>・2～5歳児クラスでは背の低い収納棚で仕切りクラスごとの時間を過ごしています。常に互いの存在を意識して過ごす環境になっております。クラス単位の活動のときは、園庭に出たり、散歩などの戸外活動の時間を調整し合って、落ち着いた環境を作り出しています。また、朝夕の自由遊びの時間帯はコーナーを用意して、好きな遊びをし、異年齢でかかわっています。ほかに散歩に出かけるとき、異年齢で過ごす機会を多くしています。さらに、食事と寝る空間をそれぞれ確保することは難しいので、食事の後素早く清掃して寝る場所を作っ</li> </ul>


<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<p>ています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0～2歳児には月間指導計画に基づいた月間個別指導計画を作成しています。3～5歳児についても特に配慮の必要な子どもには、個別指導計画を作成しています。</li> <li>・個別指導計画は担任間、職員間で子どもの状況を話し合いながら、子どもの園での様子を送迎時や個人面談、連絡ノートで保護者に伝え、保護者の意向を把握し、保護者の同意を得て作成しています。トイレトレーニングなどは保護者と連携しながら柔軟に変更見直しを行っています。</li> <li>・「保育所児童保育要録」は年長児担任が入園当初からの成育歴、保育園での育ちを記入して、園長が入学予定の小学校に持参もしくは送付しています。</li> <li>・保護者から入園時に「健康調査票」「お子さまの状況について」「入園時家庭調査票」などの所定の用紙に記入の上、提出してもらっています。入園前面談で、面談シートにそって、子どもの状況や家庭の状況、要望などを聞き、記録して、個別にファイルしています。</li> <li>・入園後の成長記録については、0～2歳児は児童票に毎月記録し、3歳以上は3か月ごとに記録しています。保護者との面談や気になることがあったときも記録しています。</li> <li>・児童票などの子どもに関する記録は個別にファイルし、事務所内に保管し、職員は必要なときに見ることができます。また進級時には、児童票をもとに新担任に引き継ぎを行っています。</li> </ul>
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮を必要とする子どもについては職員数など条件がゆるせば特に条件をつけず受け入れる仕組みがあり、障がい児保育を行っており、現在4名の認定された子どもを受け入れています。</li> <li>・毎月職員会議で各クラスの子どもの様子をシートにまとめて配布して職員間で話し合い、議事録に記録し、非常勤職員にも伝達し、情報を共有しています。設置法人や港南区主催の障がい児保育の様々なケースに応じた研修に参加し、そこで得た知識を保育に生かし、設置法人の発達支援チームの巡回やよこはま港南地域療育センターの巡回相談時のアドバイスを職員会議で共有して保育に生かしています。</li> <li>・障がい児の個別月間指導計画は、活動内容に対しての目標や具体的な対応方針を立てて、保護者とは「個人ノート」を作って、日々の様子、情報を交換し、子どものペースを尊重して作成しています。</li> <li>・障がい児とほかの子どもとの関わりについて、職員はさりげなく援助し、子どもたちも自然に受け入れ、他の子どもも一緒に行動できるときは一緒に行動し、行事もできる範囲で参加しています。</li> <li>・虐待対応マニュアルがあり、職員は虐待の定義、対応について入社時研修で学び、職員会議で学んでいます。</li> <li>・虐待が疑わしい場合は、担任から園長に、設置法人の支援課担当者や港南区子ども家庭支援課、横浜市南部児童相談所に連絡をして、対応する仕組みがあります。</li> <li>・個別に支援が必要と思われる保護者には、日ごろから送迎時や行事の際には声をかけ、個人連絡帳を利用してコミュニケーションを図り、信頼関係を築けるようにし、相談機関に相談しています。</li> <li>・食物アレルギーの疑いのある子は入園の際、保護者から医師の発行する「保育園におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を提出してもらい、それに従って代替食、除去食を提供しています。</li> <li>・アレルギー食提供については、職員は、入社2、3カ月に個別に研修を受け、園長や主任と練習した後提供しています。アレルギー児情報は調理室、事務室にも掲示し、全職員が確認できるようにしています。</li> <li>・アレルギー対応マニュアルに則り調理室でのダブルチェックに加え、クラス担任と栄養士・園長または主任、またはほかのクラスの職員が確認を行っています。</li> </ul>








	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーのある子どもに食事を提供する際は、マニュアルに基づき、色の違う専用トレイを使用し、除去食を書いたラップで覆い、名前を書いて、誤食がないように提供しています。</li> <li>・子どもたちには、国旗や図鑑を用いてさまざまな人々が暮らしていることを伝え、定期的な英語教室では、異なる言語や文化の違いに接する機会を持っています。</li> </ul>
<b>I - 6</b> <b>苦情解決体制</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情受付担当者を主任、苦情解決責任者を園長とし、第三者委員の名前を「入園のご案内」（重要事項説明書）に記載し、玄関に掲示し、入園説明会でも口頭で説明しています。</li> <li>・玄関に意見箱を設置し、クラス懇談会、行事後の終了後、年度末に保護者アンケートを実施し、保護者から意見や要望の把握に努めています。自分から意見を表明しにくい保護者からは職員が話しやすいように声掛けしています。</li> <li>・玄関に外部の権利擁護機関として「横浜市福祉調整委員会」のポスターを掲示しています。</li> <li>・「苦情受付・対応マニュアル」が整備され、苦情を受け付けた場合には、第三者委員を交えて問題解決を図る仕組みがあります。</li> <li>・苦情を受け付けた際には設置法人本部担当に報告しています。園単独で解決困難な場合は設置法人や港南区こども家庭支援課に相談する体制ができています。</li> <li>・苦情があった場合は、職員会議で原因や改善策、今後の対応について話し合っています。過去に受けた苦情についてはクレーム受理表に記載して、ファイルで保管しています。</li> </ul>

## 評価領域Ⅱ 保育の実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>Ⅱ - 1</b> <b>保育内容[遊び]</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や発達にふさわしいおもちゃや絵本、教材を用意し、0～1歳児は指先おもちゃ、2～5歳児はパズル、ブロック組み立て、ぬりえ、トランプなどを揃えてあり、コーナー遊びができるように机やマットなどでスペースを分け、遊べるゾーンを確保し、夕方はブロック組み立てや粘土遊びをしています。</li> <li>・子どもたちは、指人形、ブロック組み立て、エプロン布、三角巾でままごと遊びなど落ち着いて一人遊びをしたり、鬼ごっこ遊びなどルールのあるごっこ遊び、「ダルマさんが転んだ」の集団遊びをしています。</li> <li>・子どもの自由な発想を受け止め、子どもの意見を採り入れ、子どもの「したい活動」を把握し、集団活用につなげられるように配慮しています。</li> <li>・絵本は低い本立てから子どもが自分で選んで出せるようになっていますが、おもちゃ類は子どもの要望を聞き、職員がそれに沿ったおもちゃを用意し、子どもが自分で出して遊べるようになっていません。</li> <li>・園庭で野菜や草花の種まきや苗植えをして育て、育った野菜をクッキングや給食で食べています。ヒヤシンスを水栽培で育て、根が出てくる様子を観察しています。</li> <li>・散歩時には、地域の方々や近隣の保育園の子どもたちに挨拶し、0～1歳児クラスは地域のケアプラザ内にあるおもちゃ文庫へ散歩に行き、日常の散歩は地域の公園に行き草花、昆虫、枯葉、どんぐりなど季節の自然に触れて遊んでいます。</li> <li>・京浜急行線の電車の便が良い野毛山公園や岸根公園に動物や桜見物に出掛けています。2～5歳児クラスはミカン狩りの後、みかんを折り紙で折り、食物に興味や関心を高めるようにしています。</li> <li>・設置法人の専門講師によるリトミック、体操教室、英語教室が毎週あり、子どもたちは体を動かすことやリズムや音楽に合わせて歌ったり踊ったりしています。年齢に見合った唄を歌っています。例えば、1歳児は「大きな木の下で」</li> </ul>



	<p>「どんぐりころころ」を、3～5歳児クラスは「子ぎつねこんこん」など長めの歌を歌っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳児クラスには、手遊びやふれあい遊びを多く採り入れ、振り子と音の出るおもちゃを用意しています。2～5歳児クラスは松ぼっくりをボンドでつなげてこまを作ったり、横浜布おもちゃグループから、布おもちゃや布絵本を借りてきて、子どもがいろいろな遊びを楽しめるようにしています。</li> <li>・子ども同士のけんかは、職員が双方の言い分を聞きながら、その原因を汲み、年齢に応じた仲立ちを心掛けています。お互いの思いを受け止め、子ども自身の言葉で伝え、自分たちで解決できるように支援し、職員は安全を最大源に重視しながら見守るようにしています。</li> <li>・朝・夕の合同保育では、2～5歳児の子どもたち中で、大きな子どもが小さい子どもの世話をしたり、小さな子どもが大きな子どもに世話をされながら、日常的に異年齢の関わりを持って遊んでいます。</li> <li>・天気の良い日には戸外に出るようにし、健康増進や体力づくりのために園周辺や近隣の公園へ散歩しています。公園では年齢に合わせて遊べる道具を選択したり、坂道や階段の多い公園に変えたりしています。0,1歳児は歩行の練習をかねて職員と手をつなぎ散歩に出掛けています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃ類も子どもが自分で選んで取り出したり、片付けたりすることができるよう、子どもが主体的に活動できる環境を期待します。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ-1</b>  <b>保育内容【生活】</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は子ども一人一人の食べる量を調節し、無理強いせず完食できる喜びを感じられるように調節しています。子どもたちが苦手なものも自分から食べる機会を持てるように、苦手そうな野菜をプランターで育て、愛着を持ち、食べることができるようにきっかけを作っています。苦手なものは「一口食べて終わりにしようね」と声かけしています。</li> <li>・クッキング保育では、楽しく調理、配膳、片付けをして食事の作られる過程に関心を持たせています。</li> <li>・離乳食への移行は、家庭での離乳食の進み具合と園での様子を照らし合わせながら栄養士、担任が保護者と相談して決め、時間やペースは子どもに合わせています。</li> <li>・献立は旬の食材を使い、彩りも豊かにして、子どもの食欲を増すように工夫しています。月ごとにランチの日があり、盛り付けも工夫し、子どもたちが目で楽しみ季節を感じられるようにしています。0歳児は成長に合った介助用スプーンも使用しています。</li> <li>・月1回の給食会議で園長、担任、栄養士、看護師が意見交換して、子どもの好き嫌いを共有し、盛り付けや刻み加減、味付け、大きさ、硬さなどの調理方法を工夫しています。</li> <li>・栄養士が子どもたちの喫食状況を日々見て回りながら、子どもたちと会話し、実態を把握しています。毎日の残食記録や毎月末の給食会議で担任の意見や子どもたちの好き嫌いや喫食状況を把握して、設置法人に報告し、翌月の献立作成に反映しています。</li> <li>・一人一人の排泄に関しては、排泄状況を子どもの姿から把握して、個人差を尊重し、排泄リズムに合わせて声かけし、子どもの発達に合わせて無理をしないように行っています。トイレトレーニングは一人一人の発達状況に合わせて、連絡ノートで保護者に知らせ、無理をしないように進めています。</li> <li>・保育時間の長い子どもには、その日の様子や活動によって、机上遊びやマットを敷いて、ブロック組み立てやぬいぐるみで遊ぶコーナーを分けて、落ち着いて遊べるように配慮しています。保護者の希望により、夕食を提供し、寂しさを感じないように会話を大切にしています。</li> <li>・子どもの状況について、その子どもの一日の様子や不安な点や保護者に伝えたいことを伝達ノートに記載し、職員間の引継ぎを適切に行えるようにしています。迎えに来た保護者には的確に子どもの様子を伝え、伝えた職員は漏れがな</li> </ul>

<p>II - 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理] </p>	<p>いようにチェックしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務マニュアルには、健康管理に関する取り組みとして、健康記録票、健康診断、歯科健診、感染症対策のマニュアルがあります。</li> <li>・入園時に保護者に「児童健康調査票」に記入してもらい、既往症について職員は把握しています。</li> <li>・2歳児からうがいをはじめ、食後の歯磨きは2歳児から実施し、3～5歳児は職員が仕上げ磨きをしています。</li> <li>・健康診断と歯科健診は年2回行っています。子ども一人一人の健診の結果は「個人健康記録表」に記録し、保護者へは書面と口頭で伝えています。健診結果の内容に応じて、看護師のアドバイスにより、保護者にかかりつけ医や嘱託医への受診を勧めています。</li> <li>・感染症等のマニュアルがあり、保護者には入園時に「入園のしおり」にて説明し、マニュアルには登園停止基準や保育中に感染の疑いが生じた場合の対応が明記されていて、感染症についての一覧表を掲載してあります。</li> <li>・保育中に感染症が発症した場合はすみやかに保護者に連絡し、迎えを依頼し、ほかの子どもに感染しないように、事務室の一角に隔離し安静を保つようにしています。また、感染症が発生したときは、速やかに玄関に掲示し、保護者に情報提供しています。地域の感染症発生状況などは、港南区福祉保健センターや国立感染症センターから情報を入手し、速やかに職員に周知し、職員連絡ノートでも回覧し、情報を共有しています。</li> </ul>
<p>II - 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生マニュアルが整備されており、マニュアルに沿って、職員が毎朝清掃を行い、衛生チェック表に記録しています。毎日、トイレ、玄関、保育室、おもちゃ、机や椅子などの消毒を行い、次亜塩素酸ナトリウムの濃度を変えて対応し、保育室清掃記録表に記録しています。マニュアルの見直しは、年度末に職員の意見を集約した後、園長が見直し、職員会議で検討して園として設置法人に提出して毎年定期的に見直しを行っています。</li> </ul>
<p>II - 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理マニュアルが整備されており、地震などを想定し、ロッカーや家具には転倒防止の突っ張り棒や滑り止めマットなどを施しています。子どもの睡眠中は午睡チェックを必ず行い、プール遊びや水遊びは2人体制で一人は監視役を配置し、職員会議やミーティングで話し合い、万全の安全対策を講じるように全職員に周知徹底しています。</li> <li>・緊急連絡網があり、毎月1回、定期的に地震、火災に伴う消火、通報、救護などの訓練を実施しています。園舎が危険と判断した場合は、迅速に対応できるように訓練を実施しています。一時集合場所は上大岡公園、広域避難場所は久良岐公園と入園時に説明しています。</li> <li>・AEDを設置し、心肺蘇生法を学び、全職員が周知しています。また、救急救命法による研修を職員の約半数が受講し習得しています。</li> <li>・非常時に対応するための、緊急連絡表を備えています。事故や災害が発生したときは迅速に、まず保護者に連絡しています。</li> <li>・子どもがけがをしたときは、軽傷であっても保護者に連絡し、園内のアクシデント・レポートや戶外活動記録へ記録し、設置法人の担当課、マネージャーにパソコンで報告しています。</li> <li>・事故やけがはアクシデントレポートに記録し、ミーティングで報告し、再発防止に役立て、ヒヤリハットについても職員会議で報告し、改善策について話し合い、再発防止に努めています。</li> <li>・玄関はオートロック式になっていて、来訪者を確認してから開錠することにしてしています。保護者が登園の際には園から配付したICカードで玄関扉を開閉しています。このシステムは警備保障会社と契約して緊急時に備えています。</li> <li>・不審者情報は、港南区こども支援課からファックスまたはメールにて連絡が入る体制となっていて、散歩時には緊急用携帯通報器を携帯しています。</li> </ul>


<p><b>Ⅱ－３</b>  <b>人権の尊重</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもへの言葉遣いや対応については、日々の保育の中で職員相互に配慮し、職員会議で話し合い、振り返るようにしています。叱るときも、子どもの気持ちに配慮し、せかしたりせず分かりやすく説明し、「した方がよいでしょう」などと、子どもへの声かけを、各年齢に応じた口調で丁寧に話すように心がけています。</li> <li>・職員会議では、子どもの人権を尊重した保育について確認し合い、子どもの気持ちに寄り添いプライドや自尊心を傷つけない言葉かけに心掛けています。</li> <li>・プライバシーを守れる場所として事務室や玄関で、威圧感を与えず一対一でゆっくりと話し合い、ほかの子どもの目に止まらないように配慮しています。また、保育室のロッカーの位置を変えたり、パーテーションを利用して、ほかの子どもから離れて話をすることもあります。</li> <li>・個人情報取り扱いガイドラインがあり、守秘義務や個人情報を含む書類の取り扱い方法等について職員には周知徹底されております。入社時に研修を受講し守秘義務に関する誓約書を提出しています。また、保護者には、「入園のご案内」に個人情報の取り扱いについて記載し、入園説明会にて説明しています。</li> <li>・名簿は五十音順で、集まった順で整列し、食事の席はクラス担任が子どもと話し合いで決め、グループ分け、整列を男女別に分かれたりはしていません。日頃より、職員には性差を意識するような話し方や態度、固定観念で保育しないように職員会議で話し合っています。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－４</b>  <b>保護者との交流・連携</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の基本方針については、入園説明会や４月当初の全体の懇談会、クラス懇談会で説明し、パンフレットや「入園のご案内」にも法人共通の運営理念を明記しています。行事については、保護者にアンケート調査を年２回行い、まとめた結果を書面にて保護者に説明しています。</li> <li>・保護者とは０～２歳児は連絡ノートにて連絡し、３～５歳児はハグノート(電子通信)で園での様子を知らせ、連絡ノートは任意となっています。保護者との個別面談は、１週間の期間を設けて、年３回、６月、１２月と翌年の２月に行っています。年２回の保護者懇談会は全体の様子を説明し、その後分かれて、クラス懇談会を実施して、クラス全体の日中の生活や遊びの様子を伝えています。</li> <li>・保護者からの相談記録は、「個別面談記録」に記録し、各園児の個人ファイルに綴り、相談内容は職員全体に伝え、全ての職員が継続的なフォローや業務の改善に活かしていくようにしています。</li> <li>・毎月発行される、園だより、クラスだより、給食だより、英語・体操・リトミックの専任講師プログラム、設置法人からの保健だよりを「ハグノート」(電子通信)から、携帯電話で検索できるようになっています。紙面でも配付しています。「クラスノート」は保育室内にその日の活動内容とクラスの様子を記載し、子どもの作品などを保育室内や廊下に掲示して、ハグノートで写真付きでその日の様子を伝えています。</li> <li>・日常の保育の様子、行事の様子などの写真はホームページで、園の「行事の情報」として掲載しています。パスワードを使用してビデオを流したり、写真を販売するなどによって、日常の保育やクラスの子どもの成長の様子を保護者に伝えています。</li> <li>・保護者には、年度初めに年間行事予定表を配付しています。</li> <li>・保育参観は１週間ずつ年２回、期間を設けず事前に申し込みをいつでも随時参観できるようにしています。保育参加も年２回、期間を設けず事前に申し込みをし、随時、実際の保育の様子を知ってもらおうようにしています。</li> <li>・今年度から保護者会は廃止となりました。保護者と保育園との協体制度は変わらないため、保護者の有志が運動会で用具出しや片付けをお願いしています。保護者より卒園式後の謝恩会には声かけがあり、これまでの感謝の気持ちをこめ、いままで関わった職員などが参加しています。</li> <li>・保護者会はなくなりましたが、保護者とは個別に意見交換や行事の打ち合わせなどのコミュニケーションをとっています。</li> </ul> <p><b>&lt;コメント・提言&gt;</b></p>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士がつながりを持つことは、育児支援の観点からも大切なことと思われます。運動会などの行事には保護者の有志にお手伝いをお願いし、謝恩会にも職員にお誘いがあり参加しています。その際、保護者の意向を把握し、次年度の計画に反映させるためにも、保護者の希望に沿った集まりになお一層協力することが望まれます。</li> </ul>
--	--

### 評価領域Ⅲ 地域支援機能


評価分類	評価の理由（コメント）
<b>Ⅲ－１</b> 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育てニーズについて、職員会議で話し合い、今年度地域の方に向けて未就園児対象に保育園体験会を開催しました。</li> <li>・地域の子育て家庭を季節の集会や誕生会、園庭開放にお誘いし、地域の未就園児の家庭向けに保育園体験会を開催しています。来園した保護者にアンケートを取り地域の子育て支援ニーズを把握しています。</li> <li>・園見学に来た保護者の相談に応じ、子育て中の保護者のニーズを把握しています。</li> <li>・年４、５回港南区保育所園長会に参加し、その中で地域のニーズに対応すべく各園から意見を出し合い、検討会・研究会を行っています。</li> </ul>
<b>Ⅲ－２</b> 保育所の専門性を生かした相談機能 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児相談は毎日 10 時から 12 時の時間帯を設けていますが参加者はありません。</li> <li>・見学会で離乳食や玩具についてなど育児に関する相談に応じています。</li> <li>・港南区福祉保健センター・こども家庭支援課、医療機関、よこはま港南地域療育センター、近隣の保育園、小学校などの連絡先を事務室に掲示し、日常的に連絡を取っています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児相談を毎日 10～12 時に行っていますが、参加者がありません。積極的に相談に応じることを地域の方に働きかけることが望まれます。</li> </ul>



### 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>Ⅳ－１</b> 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭りや運動会などの園の行事、誕生会に地域の方を招待しています。</li> <li>・港南区主催の「こどもフェスティバル春」に毎年参加し、京急百貨店の保育園幼稚園の紹介イベントに園のポスターを掲示しています。</li> <li>・地域の小学校と連携し、近隣の保育園と一緒に秋祭りや学校探検、小学校 1、2 年生と交流会に参加する機会を持っています。</li> <li>・地域の方向けに園庭開放を行い、こどもフェスティバルではパラバルーンなどを貸し出しています。</li> <li>・散歩の際には、上大岡公園、港南ふれあい公園、笹野橋公園、3～5 歳児クラスでは市立久良木公園に行っています。0～2 歳児クラスは地域ケアプラザのおもちゃ文庫を利用しています。また、運動会の練習では港南スポーツセンターを利用しています。</li> <li>・地域の上大岡小学校の体育館を借りて運動会を行ったり、地域の保育園（京急キッズランド上大岡保育園、上大岡東保育園、小学館アカデミー保育園など）と「一緒にあそぼう会」に参加し、また、港南区の春のこどもフェスティバルにも参加して交流しています。</li> <li>・上大岡公園で近隣の保育園（クオリス保育園、京急キッズ保育園）と合同避難訓練を行い、また、上大岡周辺の保育園（京急キッズ、つばさ、ゆう、つくしんぼ等）で行う合同ミニ運動会やドッジボール大会にも参加しています。</li> </ul>


<p><b>IV-2</b> 保育所における 福祉サービスに 関する情報提供 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人のホームページに園の情報を提供し、港南区こども家庭支援課の窓口に園のパンフレットを置いています。また、外部の情報提供媒体に保育園の情報を掲載しています。</li> <li>・園見学の問い合わせには、園長、主任が説明し、利用希望者には、園のパンフレットに基づいて、基本方針や利用条件、サービス内容について説明しています。</li> <li>・利用希望者には、見学ができる事を案内しています。随時見学ができることを門の外に掲示しています。園見学は子どもの活動している時間帯午前10時、午後3時半ごろを勧めています。見学終了後にアンケート用紙を提出してもらっています。</li> </ul>
<p><b>IV-3</b> ボランティア・ 実習の受け入れ </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園業務マニュアルの中の「実習生・ボランティアガイドライン」に基づいてボランティア希望者に対して園の方針や利用者への配慮などを説明しています。</li> <li>・今年度はボランティアの受け入れはありませんでした。受け入れ担当は園長で、受け入れの際には感想や意見を提出してもらい、園運営に反映させてもらうようにしています。</li> <li>・本年度1名の実習生を受入れ、実習前に園長がマニュアルに基づいて、園の保育方針、子どもたちや保護者への配慮、個人情報保護などを説明しています。実習生は毎日実習日誌を記録し、クラス担任、園長、主任と反省会を持っています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアを積極的に受け入れ、子どもたちの園生活の広がりにつなげることが望まれます。</li> </ul>



評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>V-1</b> 職員の人材育成 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は園全体のバランスを考慮し、園の理念・方針を踏まえた保育をするための人材育成を図り、職能や経験年数に応じた人員配置を行い、欠員が生じた場合は設置法人に人材の補充を依頼しています。設置法人が「保育士人材育成ビジョン」に基づき、内部研修として経験年数別の階層別研修と自由選択研修の計画を作成し研修を企画実施しています。</li> <li>・職員は年度初めに個人目標を立て、園長に提出し、年2回の自己査定をするともに、園長や場合によってはマネージャーと面談し、振り返りをして、達成度を確認し、次年度計画につなげています。</li> <li>・設置法人が研修ニーズを考慮しながら、常勤・非常勤とも職員が希望すれば、受講することができます。</li> <li>・外部研修では横浜市主催や港南区主催の研修に参加し、研修受講後は、研修レポートを提出し、職員会議で報告し、実践に生かすように努めています。</li> <li>・研修成果の見直しは、年度初めに行い、次年度の年間研修計画の策定につなげています。</li> <li>・職員はクラスのミーティングで振り返りをもとに話し合い、次の計画を立てて職員会議で報告し、園全体で話しあっています。</li> <li>・毎年、第三者評価を受審し、全職員で第三者評価の評価項目を活用して自己評価し、その結果を話し合い、園の自己評価としてまとめ、課題を抽出し、年間、月間など各指導計画の中で振り返り課題や改善点を見出して次の計画につなげています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修は定期的実施され、常勤・非常勤職員とも必要な職員が受講できるように、希望があればシフト調整を行っています。非常勤職員が内部研修を受講し、一層、自己啓発に励むような体制が望まれます。</li> </ul>
<p><b>V-2</b> 職員の技術の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は年2回自己査定の中で自己評価を行い、毎年受審する福祉サービス第三者評価の評価基準に沿って自己評価を行っています。園長会議で得た他園の事例をもとに職員会議やミーティングの中で話し合い、サービスの向上に努めてい</li> </ul>

	<p>ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮が必要な子どもの対応については、設置法人の発達支援課やマネージャーから助言・指導受ける体制があります。</li> <li>・年間指導計画、月間指導計画、週案、保育日誌は定型化され、振り返りや「評価・反省」の欄があります。振り返りは計画で意図したねらいと関連付けて行い、子どもの様子などを記載し、子どもの育ちや意欲などを重視しています。</li> <li>・月案、週案にも、振り返りの欄があります。計画を立てる際にクラスで振り返りを行い、次の計画につなげています。職員はクラスのミーティングで振り返りをもとに話し合い、次の計画を立てて職員会議で報告し、園全体で話しあっています。</li> <li>・保育園の自己評価は、園の運営理念や保育方針、保育課題に沿って実施しています。日常の保育が、理念や園目標に沿って行われているかについて、職員会議で話し合い、自己評価の中で振り返りを行っています。</li> </ul>
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人作成の「保育士人材育成ビジョン」があり、職員の経験年数、役職に応じた等級、経験、能力や習熟度に応じて役割が期待水準としての明文化され、職員が現在どの位置にあるかを明確にわかり易くなっています。永年勤続 10 年の表彰を授与される制度や良い企画を提案した場合社長賞を授与される制度があります。</li> <li>・設置法人の取締役やマネージャーは各園を巡回し、職員との日々の話の中で改善策を検討し、実施しております。職員の人事考課の結果について、従来は、人事担当部署などから開示されていましたが、最近開示は無く課題となっています。</li> <li>・園長は可能な限り現場の職員に権限委譲し、クラス担任を中心に現場で判断し、主任・園長に報告をすることで、最終的な責任を園長がとる体制となっています。また、職員との面談を定期的に年 2 回行い、現状の問題や意見・提案を聞いて業務改善につなげています。毎月の職員会議でも、提案をし、意見を発表する機会があります。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員自身が仕事に誇りを持ち、充実感を持って、日々の業務に励むためにも、各人が、どのように評価されたかを開示する人事考課制度などの仕組みが期待されます。</li> </ul>

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織・職員が守るべき法・規範・倫理などについては保育園業務マニュアルや就業規則に明記され、職員には入社時研修で周知しております。設置法人にはコンプライアンス委員会があり、不正があった場合には直接通報できる仕組みを職員に周知しています。</li> <li>・経営、運営状況については、設置法人のホームページで公開しています。</li> <li>・設置法人から保育園運営にかかわる業界の不正、不適切事例の記事や情報がアクシデント情報として一日 2 回送信され、必要があれば職員会議で話し合い検討し、自園で発生した場合の対処法や未然防止策を設置法人に提出しています。</li> <li>・経理面では半月ごとに園で回収した延長保育料や主食代等を本部経理に提出し、チェックを受けています。係分担表を作成し、権限と責任が明確にされ、明文化されています。</li> <li>・一般の内部監査が毎月、経理面の内部監査が年 1 回不定期にあります。設置法人としては、定期的に公認会計士による外部監査を受けています。</li> <li>・廃材を子どもたちが製作に利用したり、手作りおもちゃを作っています。保護</li> </ul>

	者に協力してもらいエコキャップを回収し、リサイクル活動を行っています。コピー用紙を再利用してごみの減量化に努めています。
<b>VI-2</b> <b>施設長のリーダーシップ・主任の役割等</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人の運営方針・基本方針と園目標を玄関に掲示し、職員に入社時研修や年度初めの職員会議で周知しています。指導計画を作成する際には、園目標に沿っているかを園長は確認しています。職員会議では、理念や基本方針に沿った保育を実施しているかを確認しています。</li> <li>・園長は、職員面談や期ごとの指導計画の振り返り時などで、職員が理念や基本方針が理解できているかを確認しています。</li> <li>・保護者会の在り方について、保護者会会長を通して役員の見解を把握し、保護者にアンケートを取り、年度末の懇談会で保護者と意見交換をしました。</li> <li>・園の重要な意思決定をする場合や変更する場合は、職員会議で説明し、保護者には懇談会で知らせています。</li> </ul>
<b>VI-3</b> <b>効率的な運営</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任は全職員のシフトを調整しながら自ら保育に入り、職員の話聞き、職員一人一人の状況や業務状況を把握してシフトに反映し、職員に必要な助言をし、相談にのっています。</li> <li>・主任は職員とのコミュニケーションを積極的にとるように心がけ、個々の職員に必要な助言、相談にのっています。</li> <li>・職員、非常勤職員から事前に希望を取り、シフトを作成し、職員の精神面、肉体系にも配慮しています。</li> <li>・重要な情報、感染症・アレルギー児の誤食・誤薬などや保育にかかわる事故などについては、職員会議やアレルギー会議を開き、園全体の問題として話し合い取り組んでいます。</li> <li>・運営面で重要な改善課題と判断した場合は、職員会議やアレルギー会議時など緊急会議を開いて十分に話し合い保育所全体の取り組みとしています。</li> <li>・長期目標として「①生きる力を育てる保育をする②地域に開かれた保育園に③豊かな人間性を持った子供を育成する」を掲げています。</li> <li>・平成30年度の地域との交流計画として「①様々な経験や対人関係の広がりを通じて自立心を高める②地域の方と共同でイベントを開催③多様な経験を積み重ねることで豊かな感情・好奇心・探究心・思考力を養う」を挙げた保育を実践しています。</li> <li>・設置法人で幹部育成プログラムを設定して、計画的に人材育成を図っています。</li> </ul>



# 利用者家族アンケート

事業所名:アスク上大岡保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## 結果の特徴

### ◇ 調査対象

調査時点での在園児数56名、全保護者 44家族を対象とし、回答は27家族からあり、回収率は61%でした。

### ◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で 保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

### ◇ 総合満足度

肯定的な回答は100%(満足63%、どちらかといえば満足37%)と高い評価を得ており、否定的な回答は0%でした。

### ◇ 比較的満足度の高い項目(満足・どちらかといえば満足の合計が95%以上)

- 1) 設問2で 入園前の情報提供……………100%  
園の目標や方針説明……………96%  
入園時の面接でお子さんの様子を聞く対応……………100%  
保育園での1日の過ごし方の説明……………100%  
費用やきまりの説明……………96%
- 2) 設問4で 園のおもちゃや教材……………96%  
自然に触れたり、地域に関わる園外活動……………96%  
給食は楽しんでいるか……………96%  
基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み……………100%  
お子さんの体調への気配りについて……………96%
- 3) 設問6で 保護者との話し合いの機会……………96%  
お子さんに関する重要な情報の連絡……………96%  
保護者からの相談事への対応……………96%  
迎えが遅くなる場合の対応……………100%
- 4) 設問7で あなたのお子さんは大切にされているか……………96%  
意見や要望への対応……………100%

### ◇ 比較的満足度の低い項目(不満・どちらかといえば不満の合計が20%以上)

- 1) 設問5で 施設設備について……………30%  
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気について……………26%

## 調査結果

### ■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	%	7	75	7	7	0



問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

#### 付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	%	77	23	0	0	0

### ■施設のサービス内容について

#### 問2 入園した時の状況

	%	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
		見学の受け入れについては	52	33	4	0	11
		その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	%	59	41	0	0	0	0
		その他:					
園の目標や方針についての説明には	%	55	41	4	0	0	0
		その他:					
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	%	67	33	0	0	0	0
		その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	%	63	37	0	0	0	0
		その他:					
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	%	66	30	4	0	0	0
		その他:					

#### 問3 保育園に関する年間の計画について

	%	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
		年間の保育や行事についての説明には	55	30	15	0	0
		その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	%	56	33	7	0	4	0
		その他:					

#### 問4 日常の保育内容について

##### 遊びについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	55	37	4	4	0	0
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているか については	49	33	11	7	0	0
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置 いてあるか、年齢にふさわしいかな ど)	44	52	4	0	0	0
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなど の、園外活動については	59	37	0	4	0	0
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関 わりが十分もっているかについては	56	37	7	0	0	0
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては	55	37	4	4	0	0
	その他:					

##### 生活について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	59	26	15	0	0	0
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるか については	70	26	4	0	0	0
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗 いなど)の自立に向けての取り組み については	67	33	0	0	0	0
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じ て対応されているかなどについては	63	26	7	0	4	0
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お 子さんの成長に合わせて柔軟に進め ているかについては	48	30	7	0	15	0
	その他: まだ、始めていない。おむつが外れてから入園した。					
お子さんの体調への気配りについて は	63	33	4	0	0	0
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者 への説明やその後の対応には	55	30	11	0	4	0
	その他:					

### 問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	7	59	11	19	4	0
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	33	41	19	7	0	0
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	33	56	11	0	0	0
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	71	22	7	0	0	0
	その他:					

### 問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	48	48	4	0	0	0
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	52	37	7	0	4	0
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	63	30	7	0	0	0
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	48	37	15	0	0	0
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	52	44	4	0	0	0
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	55	41	4	0	0	0
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	70	30	0	0	0	0
	その他:					

**問7 職員の対応について**

		満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	%	63	33	4	0	0	0
	その他:						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	%	71	22	7	0	0	0
	その他:						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	%	67	26	0	0	7	0
	その他:						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	%	55	37	4	4	0	0
	その他:						
意見や要望への対応については	%	59	41	0	0	0	0
	その他:						

**問8 保育園の総合的評価**

		満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	無回答
総合満足度は	%	63	37	0	0	0

# 観察方式による利用者本人調査

平成 30 年 11 月 16 日

## 事業所名：アスク上大岡保育園

### 【0 歳児】

#### <食事前>

散歩から帰ってきました。子どもたちは保育士に抱っこされて、部屋に入ってきて、ハイハイやヨチヨチ歩きで手を洗いに向かっています。保育士に抱っこしてもらい、液体ソープを泡立てて、「あわあわしようね」と丁寧に洗ってもらっていました。保育士が抱っこして一人ずつ、椅子に座らせています。0、1 歳児は一緒のテーブルについています。

テーブルに 3 人ずつ座って、保育士がついています。給食が配られるまで「アンパンマン出ておいで」を保育士が読み始めました。大きな声で「アンパン！出ておいで」と叫んでいます。

#### <排泄 >

食事のコーナーの横に衝立で仕切ったところで食事が終わった子から保育士が声をかけて、一人ずつ「おしっこでたね」「気持ちよくなったね。」と、おむつを替え、着替えをしています。着替えが済んだ子から自分でお布団のところによちよち歩いて行ってコロンと横になっていました。

### 【1 歳児】

#### <排泄>

トイレの前で、おむつを替えてもらっています。保育士がズボンが子どもが自分で履けるように下に置くと、自分で足を通して使っています。保育士が「〇〇ちゃん、すごいね。上手にはけたね」と声をかけながらズボンを上に上げています。着替えの済んだ子から自分のお布団のところに行って寝ています。なかなか寝つかれずに泣き出した子を保育士が抱っこして、背中をトントンして寝かせつけていました。

#### <0、1 歳児おやつ>

0、1 歳児が一緒にテーブルに着いています。保育士が「今日のおやつ何かな？おいものおにぎりです。」「おててはおひざ」と声をかけています。どの子も行儀よく座っています。おいもの入ったおにぎりを、両手に持って食べる子に「一つずつ食べようね」、大きくて食べきれない子には「小さいおにぎりにして、あげるね」と子どもの様子を見て保育士が小さいおにぎりになっています。どの子も手づかみで食べています。「これでっかい」「アワワ～」と声をあげている子どもたちに保育士が、

「おいしいって言うんでしょ」と声かけしています。

#### <遊び>

おやつ後でおむつを替えてもらった子から緑のテープのところにヨチヨチ歩きや抱っこしてもらって座っています。みんなが並ぶと保育士が「アンパンマンブロックを出します。お約束をします。全部私のものでいいですか。だめですね。ほしかったらなんて言うのかな、かして、いいですよ」とお約束をはなし、「名前を読んだ人からどうぞ」「〇〇ちゃん、××ちゃんどうぞ」と声をかけると、ブロックのところに行って遊び始めました。まだ意味が分からなくてブロックの方へハイハイで寄っていく子には保育士がそばについて見守っています。四角のブロックをカメラに見立てハイポーズと写真を撮る子、丸いブロックで水を飲む真似をしている子もいます。

### 【2歳児】

#### <散歩>

子どもたちは玄関で座って、0、1歳児クラスの子どもたちがバギーに乗ったり、歩いたりして散歩に先に出かけるのを待っています。顔見知りの子どもたちなので、出かける様子を眺めて、静かに待っていました。靴を履きます。左右反対に履いた子に保育士が「ちょっと残念、反対だったね」と教えています。子どもたちは2人ずつ手をつないで、信号、クルマ、自転車に注意しながら「ささの橋公園」までお散歩に出かけます。

住宅地に近づくと、保育士が子どもたちに「赤ちゃんが寝てるといけないから小さな声でお話ししようね。」と子どもたちに声をかけています。大きな声を出すお友だちに「小さな声だよ」と子ども同士で注意し小さな声でお話をしています。公園に着くと子どもたちは一斉に走り出し、「先生鬼ごっこしようよ！ぼくを追いかけて」と保育士、友だちと鬼ごっこを楽しんでいました。

#### <食事>

アレルギーの子が皆と少し離れて、座っています。職員がそばについて、食事をしています。子どもたちはカレー味に焼いた豚肉と野菜のサラダをフォークでおいしそうに食べています。食べ終わるとカラになった皿を自慢そうに見せてくれる子、おかずを先に食べて、残ったご飯を食べている子、お話をしてなかなか食が進まない子もいます。はじめに食べきれぬ量に減らしてもらっているので、全員完食していました。

#### <排泄>

子どもは紙おむつを手にもって、トイレの前に並んでいます。トイレの中で保育士が付き添って、子どもが紙おむつを脱ぐのを手伝ったり、トイレに座るのを見守っています。子どもたちはおむつを替えて、手を洗って保育室に戻ってきます。履

きやすいように置いてもらったズボンを自分で履いています。着替えの済んだ子は、脱いだ服を畳んでいます。

### 【3歳児】

#### <製作>

テーブルにみかんが置いてあります。子どもたちはよーく観察しています。親子遠足でミカン狩りをした時のみかんの木を思い出しながら、折り紙で折ったみかんに軸を書いて、画用紙に書いたみかんの木に2～3個を張り付けています。

#### <散歩>

今日は天気が良いので散歩に出掛けます。保育士が「玄関でおくつをはきましよう」と子どもたちに声かけしています。「〇〇君のおくつはどれですか」「これです」と大きな声でくつをあげています。「きょうは大岡川の遊歩道を通り、商店街へ行きますよ」と伝え、歩き始めた。子どもたちは二人ずつ手をつないで2列で歩いています。保育士が「後ろから自転車が通りますよ」。横断歩道にさしかかると、「横断歩道ではどのようにしますか」と声かけしていました。子どもたちはみんな手を上げて渡って行きます。信号のある交差点では、「ここでは車が通りますよ」。住宅街ではみかんの木や柿の木を見ながら歩いています。大岡川の遊歩道では、川にかもが4羽遊んでいます。保育士が「柵から、頭や手を出してよいかな」子どもたちは「だめです」と答えています。道行くお年寄りの女性がにこにこ笑顔で通り過ぎると子どもたちは楽しそうに手を振る子もいました。商店街のクリスマスツリーの前で全員が写真撮影をしてから、帰園していました。

### 【4歳児】

#### <食事>

給食の時間です。給食当番の二人が箸を園児テーブルに配っています。待っている子どもは手をお膝に乗せて待っています。給食が配り終わると当番が前に出て「ご用意はよいですか」「よいです」「それではどうぞ召し上がれ」「いただきます」と言って食べ始めました。食べ終わると「ごちそうさまでした」と挨拶してめいめいが一定の場所へ片付けしています。

食事が終わると、自分で歯磨きをして後で保育士が仕上げ磨きをしていました。

### 【5歳児】

#### <食事>

今日は子どもたちの大好きなラーメンとデザートはヨーグルトです。子どもたちは懸命にラーメンを食べています。職員が「8～10の数字の所でお代わりができます」と伝えています。11時40分～50分の近くになると、男の子が「もう少しでお代わりだ」と大きな声で話しています。「うちのお父さんは、お腹



をこわしているから、ラーメンを食べないんだよ」と隣の子どもへお話ししています。ヨーグルトの紙のふたを開けると、「たまごみたいだ」と叫んでいます。

食事が食べ終わると、子どもたちはめいめいが教室の隅へ椅子を運び、並んで座り、自分で本立てからとりだして、好きな「なめこ絵本」「ポケモン」「ハムとクロのそらのたび」などの絵本を見ています。まだ、子どもが食事をしています。

2人のゆっくりと食べている子どもが1つのテーブルにまとめられ、12時以降も自分のペースで食べています。職員は食べ終わっていない子どもが、食べ終わるまでふとんを敷いていませんでした。食べ終わると職員が絵本を読み、読み終わると排泄です。トイレには黄色のスリッパが4つ並べてあり、順番に排泄をし、手を洗いペーパーで拭いていました。

## 平成30年度 横浜市第三者評価

### アスク上大岡保育園事業者コメント

#### 【受審の動機】

第三者の機関より公正かつ専門的に評価していただくことで、利用して下さる方々によりよい保育を提供していくための課題を明確にできると考え、今年度も受審いたしました。

評価機関については、運営方針等を十分にご理解いただいた上で調査をしていただけるよう、今年度も同じ評価機関に評価を依頼しています。

また、職員にとっても日々の運営・保育を客観的に見直すことで自己の成長にもつながる貴重な機会だと考えて受審致しました。

#### 【受審した結果】

職員それぞれの自己評価や自園の見直しは、問題をクリアにしていく上で大変重要であり、新たな気づきを得られる良い機会となりました。

全職員が同時期に「保育」を見直すことで運営方針や理念、今後園の目指していく方向性を再確認することが出来ました。このことで、職員の意識が高まり、保育の質の向上につながっていくと感じています。

また今回の保護者アンケートで、高い評価をしていただき大変嬉しく思います。園に寄せて頂いている信頼をこのまま維持し、保護者の皆様が今後も安心してお子様を預けられるような場所だと思っただけできるよう努めてまいります。そして、職員も働きやすく、楽しんで仕事に取り組める職場づくりも引き続き行っていきたいと思います。

最後に、受審にあたりご尽力いただいた、評価機関の皆様、ご多忙にも関わらず、利用者調査にご協力いただいた在園児の保護者の皆様に心より感謝申し上げます。